

街の喧騒から一步離れて  
ちょっとした「非日常」に  
心地よくひたっています

エッセイスト・服飾史家

中野香織さん

@カフェ ラントマン 青山店  
表参道

なかのかおり／東京大学大学院修了。英国ケンブリッジ大  
客員研究員などを経て文筆に  
。「ダンディズムの系譜—  
男が憧れた男たち」(新潮選書  
『モードとエロスと資本』(日  
英社新書)など著書多数。日  
治大学国際日本学部特任教員  
も務める。



ココが好き!

ヨーロピアン調に  
ひたれるインテリア

「ウィーン本店を忠実に再現したインテリアに合わせて中野さんは19世紀の古い洋書を持参。お気に入りメニューはフォームミルクをトッピングしたブラウナー(¥800)。



ココが好き!

天気のいい午後は  
テラス席でワインを

クラシカルな内装とはうってかわって、テラス席は開放感のある爽やかな雰囲気。スモークサーモンのトースト添え(¥900)とグラスワイン(¥600〜)が中野さんの定番。

と語る中野さんのおすすめは、「クラシカルな内装の「カフェ ラントマン」。確かに、タイムスリップしたかのような独特の雰囲気です。「天井のシャンデリア、凝ったレースのカーテン、そして各テーブルにそつと置かれた一輪挿しの赤いバラ」。そんな細やかな演出に感激しました。店員の方がきちんと正装しているのも気持ちがいい。日常とはまるで別世界のこの空間が、贅沢な気持ちにさせてくれるんです」

用するほか、休日の午後に友達とワインでおしゃべり、も多いとか。「よく晴れた日曜日の午後のテラス席もおすすめ。おしゃべりして出かけて、背筋を伸ばしたままで、明るくいいお酒を飲む。そんなカフェの楽しみ方も、大人の女性ならはだとおもいます。2〜3時間過ごしただけで、すっかりリフレッシュでき、お店を出ればまた、日常にすんなりと戻っていける。それが、私にとっての充実したカフェ時間です」

本店は、1873年のオープン以来「ウィーンで最もエレガントなカフェ」として愛され続けている名店。壁際のふたり席はプライベート感があるので、ひとりでもゆっくり過ごせる。

カフェ ラントマン 青山店

DATA ● 東京都港区北青山3-11-7 Ao(アオ) 4F ☎03・3498・2061 営業11時〜22時(L.O.)、日・祝〜21時(L.O.) ④Aoビルに準ずる ラントマン ブレンド ¥750

